

極秘機関「陸軍登戸研究所」は こうして明らかになった！



1945

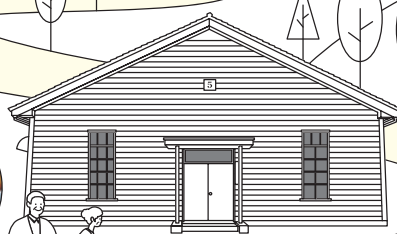
敗戦



登戸研究所跡碑

1989

登戸研究所跡碑建立



1980

登研会設立



1980-2000

登戸研究所掘り起こし
および保存運動

2010

資料館設立



2021

1/13 水 >> 2021 7/3 土

オンライン
開催は
こちらから



【開館時間】10:00～16:00 【休館日】日曜～火曜、2021年1月16日(土)、2月5日(金) 【入館料】無料

【展示開催場所】明治大学平和教育登戸研究所資料館およびオンライン <https://www.meiji.ac.jp/noborito/event/index.html>

後援：川崎市、川崎市教育委員会

特記事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一般の入館を制限しています。ご来館前に当館HPもしくは当館までお問い合わせください。
また今後の感染状況により臨時休館する場合もございます。

明治大学平和教育登戸研究所資料館

The defunct Imperial Japanese Army Noborito Laboratory Museum for Education in Peace, Meiji University

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 明治大学生田キャンパス内 TEL/FAX 044-934-7993

<https://www.meiji.ac.jp/noborito/>

https://twitter.com/meiji_noborito

<https://www.facebook.com/Noboritoshiryoukan>

https://www.instagram.com/meiji_noborito/

Web



Facebook



Twitter



Instagram



極秘機関「陸軍登戸研究所」はこうして明らかになった！

— 登戸研究所掘り起こし運動30年のあゆみ —

日本陸軍の秘密戦のための兵器を研究・開発していた登戸研究所に関する資料・データは、敗戦時にことごとく焼却・隠滅されました。また、研究所関係者も戦後永らく口を閉ざし続け、登戸研究所の秘密は完全に消滅するかに思われました。

しかし、今から30年以上前、1980年代の終わり頃に、川崎と長野伊那地方において、地元の市民・教員・高校生たちによって登戸研究所掘り起こし運動が

始まりました。ちょうどその頃、永らく口を閉ざし続けていた登戸研究所の関係者も、親睦団体である「**登研会(とげんかい)**」を**結成**し、少しずつ集うようになっていきました。

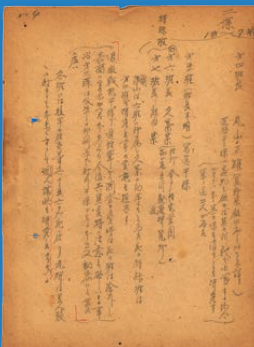
市民・教員・高校生たちは、研究所関係者のもとを訪ね、信頼関係を築きながら、登戸研究所で何が行われていたのかを少しずつ明らかにしていきました。そして、明治大学にも登戸研究所の歴史を研究するグ

ループが生まれ、市民・「**登研会**」、大学関係者が連携して登戸研究所掘り起こし運動が展開されるようになったのです。

今回の企画展ではこうした掘り起こし運動を振り返り、どのように登戸研究所の秘密が明らかにされていったのか検証します。

所蔵先: ①帝銀事件再審弁護団、③④⑥⑩明治大学、③⑥⑦渡辺賢二氏、表面右上写真 木下健蔵氏提供

1948



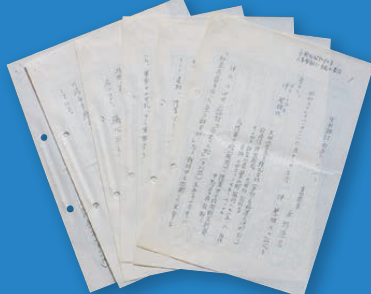
① 帝銀事件の「捜査手記」より元登戸研究所科長への事情聴取メモ(1948年4月)

1980



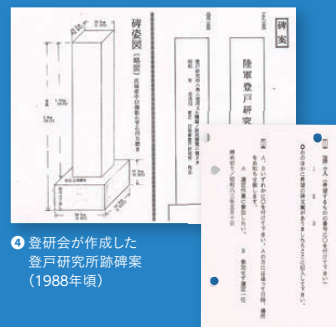
② 中央公論社「歴史と人物」1980年10月号

1981



③ 「生田神社の由来」、伴繁雄(元登戸研究所班長)が生田キャンパスを訪問した際に大学関係者によって作成されたメモ(1981年6月)

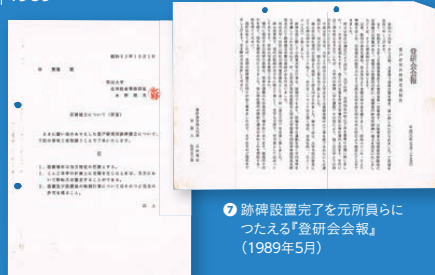
1988



④ 登研会が作成した登戸研究所跡碑案(1988年頃)

⑤ 元所員らに宛てた跡碑碑文アンケートはがき(1988年)

1989



⑥ 大学から登研会に宛てた跡碑設置許可書(1989年10月)



⑧ 登戸研究所跡碑(2020年撮影)

1999



⑨ 学生らから明治大学学長に保存を求める署名(1999年11月)



⑩ 登研会から明治大学学長に宛てた保存請願書(1999年9月)

関連イベントのご案内

■ 講演会①「登戸研究所掘り起こし運動30年のあゆみ」

講師: 渡辺賢二(資料館展示専門委員、元法政二高教諭)
内容: 30年前、市民や高校生、元登戸研究所員と共に登戸研究所の掘り起こしを始めた当事者から、当時の思い出やこれからの展望についてお話しします。
開催日時: 2021年3月20日(土・祝) 13:00 ~ 14:30

■ 講演会②「資料館開館に向けての明治大学の取り組み」

講師: 山田朗(館長、明治大学文学部教授)
内容: 市民や元登戸研究所員らからの保存の声を受け、明治大学が資料館を設立するまでの経緯をお話しします。
開催日時: 2021年5月15日(土) 13:00 ~ 14:30

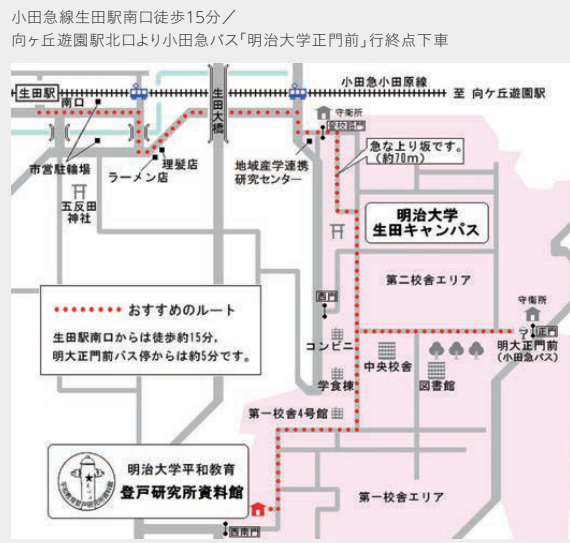
■ 講演会①②共通事項

会場: オンライン(Zoomウェビナー) ※後日YouTubeでも公開します。
※②は今後の状況次第で実会場でも開催する可能性もございます。
その場合、当館HPおよびSNSでお知らせいたします。
定員: 400名 参加費: 無料
参加方法: 要事前予約。開催日1週間前までに、naborito@emics.meiji.ac.jpに、①氏名、②メールアドレス、③希望する講演会名を明記の上お申し込みください。
※要開館日以内に当館よりお申込み確認メールを送信いたします。当館からのメールが届かない場合、迷惑メールフォルダ等に振り分けられている可能性がありますので、「naborito@emics.meiji.ac.jp」からのメールを受け取れるよう設定をお願いいたします。

■ 企画展解説会

後日YouTubeにて公開予定。決まり次第当館HP・SNSでお知らせいたします。

アクセス



<お問い合わせ> 明治大学平和教育登戸研究所資料館

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1 明治大学生田キャンパス内
TEL/FAX 044-934-7993 e-mail:naborito@emics.meiji.ac.jp
★登戸研究所関連資料を収集していますので、些細な情報でもお知らせください